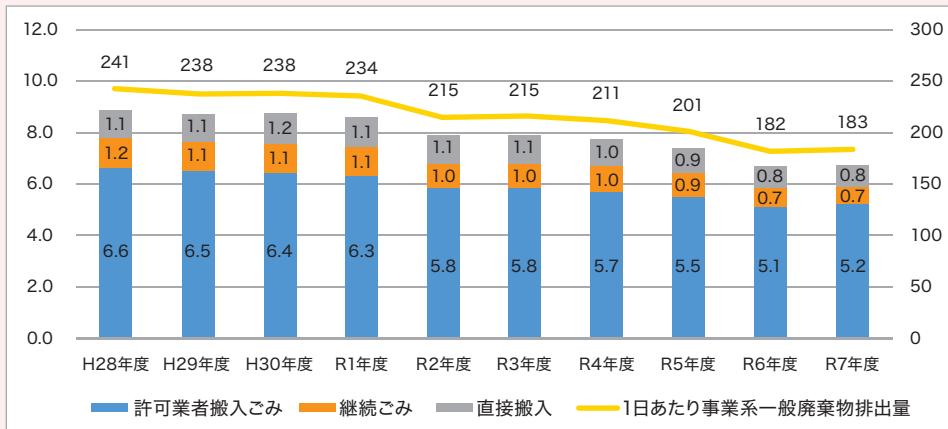




## 令和7年度事業系ごみ搬入量



市内事業者の皆様のご尽力により、本市の事業系ごみの搬入量はこの10年間で減少傾向にあります。一方で、令和6年度から令和7年度にかけては、下げ止まりの動きも見られます。さらなるごみの減量を推進するため、具体的な取組事例を本記事でご紹介します。



堺市環境マスコットキャラクター「ムーちゃん」

# ごみの減量とリサイクル

ムーSTYLEでは、普段知ることのできない他事業者様のごみ減量に対する取組を取り上げることで、皆様の参考にしていただければと考えております。



### 事業者紹介 大阪府立農芸高等学校 堺市美原区北余部595-1

約600名が学ぶ農業専門高校。ハイテク農芸・資源動物・食品加工の3科を設置。約9万㎡の敷地に農場や畜舎、加工施設を備え、「食と命」を軸に循環型農業を実践。家畜飼育や商品開発、地域連携を通じて実践的な学びと地域貢献を推進している。

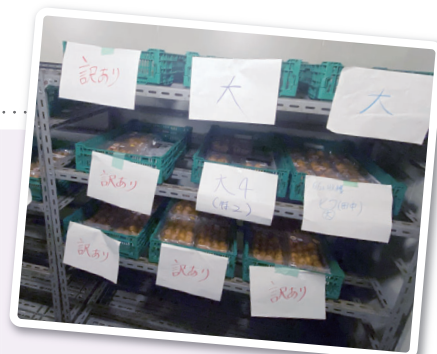
## リフューズ Refuse

(発生源でごみを断つ)について

### 事業者の取組

日々の栽培管理を徹底するとともに、病害虫や野生動物による被害が大きいウメやモモなどのサクラ属の果樹は、果樹園全体をネットで覆い、被害の抑制に努めています。この取組により、病害虫や鳥獣被害の軽減に加え、台風時などの強風の影響を軽減することができました。

また、収穫物は、衛生管理を徹底し、異物や腐敗物の除去を行っています。規格外品や病害虫リスクのある果物は、販売用とは別の冷蔵庫で保管するなど、適切な品質管理を行っています。



↑ サイズや状態ごとに仕分けされた収穫物

## リデュース Reduce (減量)について

### 事業者の取組

#### ・保存方法の工夫

ブドウは穂軸に水の入ったスポイトを装着して保存  
柿類は切り口に濡れたティッシュを置いて乾燥・軟化を予防

#### ・販売計画の管理

カンキツ類は保存期間の短い薄皮のものから先に販売  
ホワイトボードに在庫状況を記入し、販売計画を可視化

#### ・規格外品の活用

近隣飲食店とコラボメニューを開発



穂軸に水の入った  
スポイトを装着し、  
鮮度を保持

→  
規格外品  
(ピワ)を使った  
チーズケーキ  
タルト

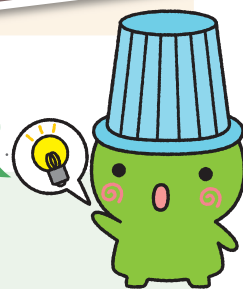


## リユース Reuse (くり返し使う)について

### 事業者の取組

店舗や地域住民へ納品・販売する際に使用する梱包材(フルーツキャップやプラスチックトレイ)は、  
納品や販売の都度、回収して再使用しています。

事業活動の中に、  
ごみを減らす  
ヒントは  
たくさんあるんだね!



## リサイクル Recycle (再資源化する)について

### 事業者の取組

規格外の果物として商品および原材料へ活用できないものは、豚の飼料にしています。  
動物も食べられない腐敗したものはすべて堆肥化して、次年度の肥料として活用しています。  
また、発酵させて精油を抽出したり、発酵材として活用するなどの工夫もしています。



↑  
豚の飼料として活用

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

一次産業である農業に携わる「良い生産者」と、生産者の思いや努力を理解をしながら農産物を選び、購入する「良い消費者」を育成しています(4. 質の高い教育をみんなに)。



↑地域のイベント用に考案したメニュー

良質な果物は生食として

販売、規格外のものは付加価値を高めて詰め放題や大容量で販売しています。

活用が難しいものは豚の飼料か堆肥として活用し、「無駄」を生み出さない「ゼロエミッション」を達成しています(12. つくる責任、つかう責任)。



### 工夫や苦労したところ

猛暑や長雨、干ばつなどの気候変動に加え、害虫被害や資材費の高騰により、果樹の安定生産と品質維持を目的とした多品目栽培の管理には多くの苦労がありました。

こうした課題に対しては、天候に応じた灌水管理やネットによる防除、収穫後の鮮度保持等の工夫を行い、生徒が主体的に考え実践しながら対応しました。

また、規格外実果や剪定残渣は、単なる廃棄物とせず、堆肥化、飼料化、加工等で活用するなど、学科間や地域と連携した資源循環の仕組みを作りつつ、廃棄物減量と付加価値創出を実現しました。